

バリ通信



2501号

10年後、2035年はこんな年になることが予測されるのだあ！

昨年は正月早々に能登半島地震と羽田空港の航空機衝突事故という衝撃的なスタートとなったわけですが、天災や事故の予測は無理ではあるが、未来総研という所が出している10年後の2035年はこうなるのだあ！という記事から気になる記事をピックアップしてみましたのである（実際にこうなるのだあ！と書いてあるわけではありません）

***地球温暖化による気温上昇を1・5度に抑えるため化石燃料で走るエンジン車の新車販売が完全に停止される**

以前は自動車専門ではない経済紙とかにはよく書かれていましたが、実際には資源の問題（今の電池の材料は中国などの極一部の国が握っている）で、全部の車をEVに置き換えることは難しいと言われています。実際、数年前に欧州メーカーが2030年に全てEVに切り替えると報道されたのも実際は『状況が許されるのであれば』という最も大事な文言が割愛されていましたから・・・

***団塊の世代が全員85歳以上となり6割が要支援、4人に1人が重度要介護者となる。それに伴い介護現場の人数が69万人不足、**

（2015年あたりは不足は4万人程度だった）

ウチの親も80代になったので他人事ではないですねえ・・・

バリ通信は
過去に

(有)FORZA

愛媛日産自動車(株) 勤務時代

公益社団法人 今治青年会議所

今治商工会議所青年部

を通じて面識のある大切な方にお送りしております。

***自己免疫疾患の発症予防が可能となる**

自己免疫疾患とは免疫系が正常に機能しなくなり、体が自分の組織を攻撃してしまう病気だそうです。怖っ！

***ドローンに乗って通勤する時代が到来する**

値段が高すぎて通勤する時代はなんぼなんぼでも無理なんじゃないですかね??認可されたら配送センター間なら大きめのドローンとかで運べそうですね。

***中国とロシアが共同で月面に小さな村を建設する**

無理やりにも造って『古来より我が国の領土』とか言いそう。

***世界の平均気温が今より0・3から0・7度上昇する**

本当にこの程度の上昇で収まるのだろうか?暑すぎる。。

***国内の仕事の49%がロボットで置き換え可能となる**

既に製造業の大半は機械化されていますよね。

***税理士業務の92%、会計士業務の86%が人工知能に置き換わる**

『士業に限らず職種毎に的確なアドバイスが出来ないところは淘汰されるかもね』という話を聞きました。アメリカのテスラがネット販売のみなので車屋も他人事ではないです。。

＊人間の直感や想像力などの脳の高次メカニズムが経営実務で利用されるようになる

ちよつと何言ってるのか分かりませんが怖いような気もする

＊好きな場所で仕事をするノマドワーカーが世界全体で10億人に達する

コロナ禍で、職種によっては『会社に行かなくても仕事できちゃうやん!？』という事が発覚しましたよね。社員同士の繋がりが会社への愛着とかは薄れそうですが。

＊世界で販売される新車の23%が完全自動運転車となる

バスやタクシーの運転手や決まったルートを走る運送業務など人手不足な業種は可能性大かもしれませんね。アメリカや中国では無人のロボットタクシーが既に走ってるし、大手の物流拠点では自動化で配送手続きをしている映像を見たことありますので、その技術も自動運転の技術を流用しているのでしょう。

家庭で使用する乗用車では高額過ぎて完全自動化の車は厳しいけど、半自動運転というか半自動で危険を回避する機能が実はもう実現していますし、何故か大々的にアピールしていかないけど普通に今現在売っている車で採用されています。(詳しくは次回以降のバリ通信にてご案内いたします！)

10年前は岡田さんがFC今治のオーナーになって今治にやってくるなんて考えられなかったし、20〜30年くらい前は映画やスポーツがサブスクで観るのが常識になるなんて大半の人は思っていなかったでしょうし、スマホも無かったんですからねえ。ただ希望的な意見としては、どんなに便利な世の中になっても『人と人との繋がりが大事』な事は失われないう世の中であってほしいです。

FC今治がJ2昇格!!

岡田会長の言う通り新聞等で書かれてある『悲願のJ2昇格』ではなく『J1で優勝』が最終的な目標なので、あくまでJ2は『通過点』な訳で『1年でJ1行くぞ!』と言いたいところではあります。J2とはどのくらいのレベルなのか?恒例の松木安太亮またはセルジオ丹下に扮しまして解説してみたいと思います。近年、J3から昇格したチームが翌年どうなったかのが、現実には非常に厳しい世界です。一昨年J3で優勝してJ2に復帰した愛媛FCが後半戦で大失速して8つの負け越しで得失点差がなんとマイナス28点の17位(ドベ4位)でギリギリ降格回避、2位で昇格した鹿児島は19位(ドベ2位・同マイナス24点)で、たった1年で2度目のJ3降格、以前に優勝して昇格した秋田といわきが僅か1つ勝ち越し(9〜10位)、藤枝と熊本が5〜6の負け越しで12〜13位という状態で、J2の上位チームは戦力・資金力ともに別次元の様です。。

優勝候補となるのはJ1から降格組の磐田・札幌・鳥栖に加えて、前年度3位で新スタジアムが出来て機運が高いうえにジャパネットがスポンサーの長崎、J3でブツチギリ優勝した大宮が、なんと世界的企業のレッドブルが買収して台風の目間違い無しです!(*レッドブル社は世界中でスポーツビジネスを成功させています) FC今治は、力量は未知数ながら監督も変わり、新しい戦力がどれくらい加わるのか、これを書いてる12月上旬では全く分かりませんが、プレーオフ圏内の6位以内が現実的な目標かなと思います。よりレベルの高い試合が今治で、生で観れることが楽しみで仕方ないですね!

本年も宜しくお願い致します!